

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立田辺高等学校 】

1 実践テーマ	【 I II 】
2 実施対象者	京都府立田辺高等学校 全校生徒 923名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( )</p> <p>② 行事名 (パラリンピック大会への理解・車いすフェンシング選手を迎えて)</p> <p>③ その他 ( LHR で実施 )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>身体の障害を克服し、自分の持てる能力を最大限に引き上げる努力をして自らの人生を切り開く姿勢を知ること、人生を積極的に生きる意義を理解する。</p>
5 取組内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>日程：平成 30 年 10 月 19 日(金)          講師：車いすフェンシング選手 櫻井杏理 氏 ((株)日阪製作所)          講演：「車いすフェンシングと私、高校生に伝えたいこと」          内容：          ① 車いすフェンシングの競技についての説明 (映像資料含む)。          ② 自身が陸上競技の選手から、不慮の出来事により車いす生活に入らざるを得なくなり、絶望と諦めの淵から立ち上がって、再度新しい競技に挑戦した経緯について。          ③ パラリンピックの意義について。 (以上 約 50 分)</p>

<p>6主な成果</p>	<p>パラリンピックの意義についてよくわかった生徒：84.5%          目的を持って生きることの重要性を理解した生徒：85.2%          いつ、いかなる時でも勇気を出して頑張ることの重要性を理解した生徒：84.5%          障害の有無にかかわらず平等に生きる社会が大切だと感じた生徒：88.5%          オリンピック・パラリンピックの持っている価値について、生徒の中では平等(21.3%)、尊重(20.4%)、決断力(12.9%)、友情(11%)、が上位を占めた。</p> <p>生徒感想文より</p> <p>○「明日こうやって人に会えることや、話すこと、音や声が聞こえること、物が見えると言うこと、歩けることなどの当たり前のことが出る保証はない。」という言葉が心に刺さりました。一日一日を大切にしようと思いました。</p> <p>○フェンシングは前後に素早く動くスポーツなのに車いすですどうするのだろうと思いました。実際に競技をしているところを見ると、ほんの数秒で1点が決まり、あっという間に決着が付くところは凄いと思いました。</p> <p>○障がい者の方の言葉だからこそ、毎日が当たり前ではないと聞かされて、ハッとしました。スポーツに限らず、自分の好きなことを諦めないことを生きがい生きていくことが憧れになりました。</p> <p>※生徒の感想文には、これまでの日常、当たり前のことができなくなる可能性に言及し、今を大切にしたいということから、目標を持つことや、自分の人生をしっかり生きたいと言うものが多い。また、車いすフェンシング競技をとおしてパラリンピックに興味を抱いた生徒も多数いた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会という形式をとったために、競技の特性について映像資料を講師に準備してもらい生徒の理解を深めた。</li> <li>・障害があるから出来ないと考えるのではなく、自分の持っている身体能力をどこまで拡大することが出来るかが大事であることをお話しいただいた。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の心に揺さぶりをかけるためには、継続性が必要である。</li> <li>・世界レベルの選手に来ていただくための日程調整が困難。今回の講演会でも、年度内のほとんど唯一の実施可能日であった。</li> <li>・世界レベルではなくとも、日程調整は困難であることに変わりはない。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手の講演、デモンストレーション、部活動生徒への指導などの形で継続して実施していきたい。</li> <li>・指導者を招いて、本校だけではなく近隣中学の当該スポーツをしている部活動の生徒などと共に指導してもらおう機会を作りたい。</li> </ul>